

～島暮らし体験施設『おじゃれハウス』を開設しました!～

「おじゃれハウス」について

島内の一軒家を借り上げ、移住希望の方の「プレ移住」として八丈島の生活を体験できる施設です。
港や空港に近い三根地区にあり、スーパーなどへ行くにも便利な立地です。
一棟貸ですのでご家族での移住体験も可能です。ぜひ太平洋の島の生活を体験してみませんか？

利用期間：
原則1週間(7日間)のご利用となります。
※7日以下でのご利用できますが、料金は一律20,000円となります。
※現在モニター期間中のため、特別な理由等がない限り
1組様最長1週間(7日間)のご利用とさせていただきます。

利用料金：
1週間のご利用で20,000円(税込)となります。
★2021年3月までモニター期間として無料で移住体験ができます。
詳しくはお問い合わせください。
※施設の関係上、最大4名様までとさせていただきます。
※料金には水光熱費が含まれています。
※申し込み日数よりも早く退室された場合でもご返金はできかねます。

ご利用できる方：
施設の目的上、八丈島への移住を希望されている方、または検討されている方に限ります。
観光目的での利用はできません。
また、当施設をご利用される方にはアンケート等へのご協力をお願いしています。



詳しくはホームページをご覧ください、下記へご連絡ください。

八丈島移住定住促進協議会のホームページ

HP: <https://hachioi-ju.com/>



会員も募集中しています！



【ご意見・ご希望やご連絡等は下記へお願いします】

※「私の提案書」様式を作り提案を大歓迎しています。今後とも本会の活性化と活動がマンネリ化しないように新鮮な息吹をご提供くださるようよろしくお願いいたします。

連絡先住所: 〒100-1411 八丈町大賀郷 2484

電話番号: 070-8310-7405

mail: 8joiu@gmail.com

※移住協は全員ボランティアのため専任事務員がいません。不在の時はご容赦ください。

(不在の際は、会長 内山江差夫 Tel:090-5791-1427 mail:hachi2004esao@yahoo.co.jp までご連絡願います。)

八丈島と人を「つなぐ」移住定住のための会報誌

創刊号 おじやりやれ

季刊誌:1,4,7,10月発行 VOL.1

2021 1月号



- ◆会報誌「おじやりやれ」創刊によせて
- ◆創刊への挨拶
- ◆設立までの経緯と今後の活動
- ◆島暮らし体験施設「おじゃれハウス」の開設

八丈島移住定住促進協議会

会報誌「おじゃりやれ」の創刊に寄せて

八丈島移住定住促進協議会 会長 内山 江差夫



この度、八丈島移住定住促進協議会「移住協」念願の会報を創刊することが出来ました。2年前、八丈町主催「移住セミナー」開催を受けて有志が集い「移住定住を進めるまちづくりの会」を立ち上げ、町の支援もいただきながら活動を始めました。今年2月、「行政と協働する住民側の組織が必要では、移住定住を通じた島づくりをともに」との声で移住協を設立しました。設立10カ月、島の皆さんの理解と協力を得ながら、ともに地域活動が出来ればと願いながらの活動開始でした。まだ組織の土台がしっかりしていないため不十分な活動しか出来ていませんが、

新年から島体験施設「おじゃれハウス」の運営を皮切りに、今後、空き家実態調査、ワンストップ窓口拡充、古民家の活用推進など微力ですが、少しずつ活動の範囲を拡げながら島づくり活動をしていきたいと願っています。

島には多くの住民組織があり、それぞれに島づくりに力を発揮されています。私ども移住協は最も新参者の会ですが頑張っ

「ワンストップサービス(総合窓口)をめざす」



「八丈島を元気に!」



創刊への挨拶

「空き家の活用促進」

八丈町長 山下泰也



八丈島移住定住促進協議会におかれましては、この度、会報の創刊号を発行されることとなり、その目的に向けて一歩ずつ着実に歩みを進めておられることとお慶び申し上げます。人口減少や少子高齢化は全国的な問題であり、これまで町でも様々な取り組みを行ってまいりましたが、大変難しい問題でもあり、行政による努力だけで解決に至ることは非常に困難であると

言わざるを得ません。地域活性化のための施策の一つとして、町の基本構想・基本計画や総合戦略でも移住者の受け入れや定住・定着支援を掲げておりますが、その中で以前、移住先進地である山口県周防大島町より講師を

お招きし、移住定住のためのセミナーを開催したことがきっかけとなり、参加された方々の意識の高まりから民間組織が発足しましたことは、とても心強いと思っています。昨今のコロナ禍の情勢もあり、地方への関心がこれまでと変わりつつある中で、きめ細やかな対応が求められる分野ではございますが、共に力を合わせて活力ある八丈島をつくるためにご協力いただきますよう、お願い申し上げます。



八丈町議会議員 奥山幸子



日頃より八丈島移住定住促進協議会(移住協)の活動、ご苦労様です。この移住協の活動内容については、まだ一般住民には知られていないように思います。住民への周知という観点から会報を発行するものと考えています。議会では、空き家バンクをはじめとする定住促進策についてこれまで度々要望してきましたが、いまだ実現にいたっていません。移住協には町の施策を後押しするために、ぜひ実践的な活動をしていただきたいと思います。空き家の実態調査や窓口の創設はその一つです。

コロナ禍のもとでは先進地に学ぶことより、町の空き家の写真や数値化など詳細なデータを積み上げていく事が大切です。同時に、今コロナ禍で地方移住の動きも出ているようですので、受け入れ態勢の準備も急がなくてはなりません。町の支援を得て具体的な実績をあげ、町の施策がより早く実現できるよう力を注いでみたいと思います。

1, 設立までの経緯

2019年八丈町主催の「移住定住セミナー」が開催され延べ60人ほど参加しました。「島の定住人口・経済活動等多くの分野がしぼみ気味だ。行政と協力し住民の側から島づくりの活動団体が必要では」との意見が起こり、町と協力して1年間学び合い 2020年2月に設立しました。

2, 設立後の活動

毎月、11名の理事・監事による理事会及び専門部会、三役会、町及び八丈支庁との三者連絡会などほかの島内外関係団体等との連携で、活動の具体化を進めています。このような地道な努力で組織的な活動が出来るようになってきています。

3, 現在準備を進めている活動

- ☆移住希望者に島を体験し理解を深めて貰う目的で、回収した古民家で自由に島暮らし体験をして貰う施設『おじゃれハウス』を開設します。
- ☆島内の空き家は膨大な数ですが実態把握が不十分です。街と調査を行い、空き家活用を進めます。
- ☆移住希望者総合相談窓口(ワンストップ)がありません。町と共に官民共同窓口の開設を目指します。

4, 近い将来に向け実現したい活動

- 移住による新住民を迎え定住して貰うことで、地域に活力を呼び起こし、ともに島づくり活動を進めることが町の活性化に繋がります。継続的な日常活動を行う目的で次のような事業を進めます。
- ☆移住相談、移住手続き、地域活動への参加、地域理解研修など多様な移住活動組織を目指します。
- ☆移住者への古民家紹介、リホーム、休耕地情報提供及び島内企業等への就業斡旋など、島内関連団体とも連携共働した事業を創出します。
- ☆将来の移住事業推進の一環として、専門家(宅建物取引・古民家鑑定士等)も図った事業を考えます。
- ☆空き家バンクの活用、空き家所有者(八丈島郷友会等を含む)との連携も図った事業を考えます。



「八丈島と人をつなぐ」